



第 37 回世界トランポリン競技選手権大会日本代表選考方法

2023 年 11 月 9 日～11 月 12 日 イギリス・バーミンガム

【選考大会】

第一次選考会と最終選考会の 2 回の選考会にて日本代表を選出する

- ※ **第一次選考会:**「第 10 回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会 (5 月 12 日～14 日)」のオープンカテゴリーとする
- ※ **最終選考会:**「全日本体操競技種目別選手権大会時同時開催 (6 月 9 日～10 日予定)」とする

【選考方法】 日本代表選出 最大 6 名

第一次選考会、最終選考会とも、「**予選演技得点** (2 本の自由演技のうち、いずれか得点の高い方を採用) と**決勝演技得点**の合計得点で順位を決定する(決勝進出者は 8 名)」。また、派遣標準得点を超えていることを条件とする (個人競技)

1. 第一次選考会: 1 名内定

- ① 本選考会 1 位の選手は日本代表内定選手 (個人競技) とする
- ② 最終選考会進出者は 1 位～13 位の選手 (内定者含) と協会推薦者 3 名とする
 - 推薦対象者は、第一次選考会終了時点のナショナル強化選手とする (SA/S/A カテゴリー)
 - 推薦対象者がいない場合、順位通り最大 16 名の選手 (内定者含) が最終選考会に進出する
- ③ 同点の場合は、決勝得点の高い選手を上位者とする。それでも同点の場合は、決勝演技をタイブレイクのルールに従って順位付けする
- ④ リザーブ選手は 2 名とし、最終選考会進出者が棄権した場合は順位に従い出場機会を与える

2. 最終選考会: 5 名内定 (第一次選考会で内定者がいない場合は 6 名とする)

- ① 本選考会 1 位を日本代表内定選手 (個人競技) とする (第一次選考会の内定選手を除く)
- ② 同点の場合は、決勝得点の高い選手を上位者とする。それでも同点の場合は、決勝演技をタイブレイクのルールに従って順位付けする
- ③ (第一次選考会の内定選手を除き)、本選考会 2 位以下の得点と、第一次選考会の 2 位の得点を比較し上位順に順位付けする (同点の場合は最終選考会の得点を上位とする)
 - ※ 上記の通り、第一次選考会、本選考会の結果を合わせ「**日本代表選考順位**」とする (第一次選考会と本選考会にて内定した選手は最上位 (1 位・2 位) に順位付けする)
- ④ **日本代表選考順位**において、上位最大 4 名 (内定者含) は個人競技の代表とし、それ以下の上位 2 名をシンクロナイズド競技の代表、および個人競技のリザーブ選手とする
 - ※ シンクロナイズド競技の代表については、派遣標準得点を適用しない
 - ※ 日本代表選手が棄権した場合、日本代表選考順位から順位に従って繰り上げる (事前合宿前まで)。ただし、最大 2 名までとする
- ⑤ リザーブ選手が繰り上げで個人競技に出場する場合は派遣標準得点を適用しない

個人競技派遣標準得点 (予選得点+決勝得点)	女子	104.00 点
	男子	114.00 点

3. その他

- ① シンクロナイズドのペアは強化本部にて協議し決定する
- ② 個人競技の試技順については、日本代表選考順位に基づき上位から優先して選択できる。ただし、強化本部で協議し最終決定する